



長野県における食育の取組概要

	(頁)
1 若い世代への食育	2
2 世界一の健康長寿を目指す食育	8
3 食の循環と地域の食を意識した食育	17
4 信州の食を育む環境づくり	22

1 若い世代への食育



乳幼児期から保育所、幼稚園、小・中学校での食育に取り組むとともに、20歳～30歳代になっても健全な食生活を実践できるよう高校生への食育も積極的に取り組みます。

県民の目指す姿

- 子どもの親や、20歳～30歳代の若い世代が、食育に関心を持ちます。
- 家族や友人、地域などで様々な人たちと一緒に楽しく食事をする機会を持ちます。
- 幼児期から、毎日朝食を食べることをはじめとして、基本的な生活習慣を身に付けます。
- 小中学生や高校生及び20歳～30歳代の若い世代が、自分に必要な食事を選択できるような知識を持ちます。
- 子ども達が、バランスのとれた食事を準備できるスキルを身に付けます。
- 高校生が食生活を自己管理できる力を身に付けます。

主な指標

項目	ベース値(2022)	目標(2027)
食育に関心を持つ若い世代の割合	<2019>	
20歳代男性	22.1%	37%
20歳代女性	44.8%	60%
30歳代男性	40.7%	56%
30歳代女性	67.1%	82%
ひとり又は子どもだけで朝食を食べる児童・生徒の割合	(小5) 28.1% (中2) 41.7%	減少

【県の取組】

〔保育所における食育を推進しています〕

保育所給食担当者研修会

- 保育所における食育や給食に関する研修会を保育所の調理担当者を対象に開催

各保健福祉事務所ごとに年1回開催

- 研修会の参加者の各保育所での実践



当日の給食を展示発表



子どもたちへの食育



〔学校における食育を推進しています〕

学校・家庭・地域で取り組む食育推進事業

コロナ禍において、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスのとれた食事」により、抵抗力や免疫力を高めることが大切であることが改めて認識されています。子どもたちが健全な食生活を実践できるよう、家庭や地域と連携し学校全体で食育を推進する体制づくりを進めています。

○つながる食育推進事業の展開

単発で実施する食育ではなく教科横断的な「カリキュラム・マネジメント」として食育を位置づけ、教育委員会や管理職だけでなく教科担任も含めて食育の実践を行うため、食育授業研究実践校を県内4校に指定。

茅野市立永明小学校【総合的な学習の時間との連携】

「自分たちで作った野菜を調理して食べよう！」

みんなで育てたトマトを使って、自分たちの理想のトマトゼリーを作りたいと考えている子どもたちが、3回目の試作となるトマトゼリーの試食とその評価、及び栄養教諭とのやりとりを通して、各グループが理想とするゼリーに向け、新たな工夫を考える。

第3回試作トマトゼリー試食後の評価

かたくて すっぱい グループ(K児のカード)		
①見た目	3	赤色に光っているから
②かおり	4	トマトのにおいがすぎだから
③食感	5	すこし もちっとしているから
④おいしさ	2	すっぱすぎだから
⑤みりよく	3	キレイだから
⑥また食べたい	2	すっぱすぎだから

「すっぱすぎ」⇒「改善したい」
第4回試作に向けてレシピ改善の課題が決まる

第4回試作に向けてレシピ改良する場面①



水はそのまま
ゼラチンはそのまま
いいかな

食感、固さは、
修正の必要なし

○ 栄養教諭等研修等の実施

キャリア別研修の実施、文部科学省主催研修の受講などにより、学校における食育の中核となる栄養教諭等の指導力向上を図りました。

また、R3より新たに市町村の課長級を対象とした研修を実施し、管理職の意識醸成を促しています。

〔若者や働き盛り世代への情報発信をしています〕

InstagramやYouTube等のSNSを活用した普及啓発

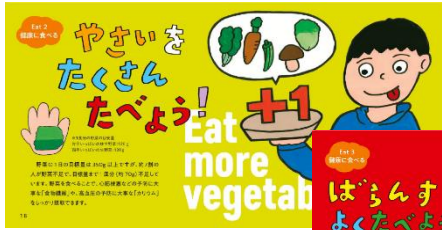
健康づくりや食育についての関心が低い若者世代の利用率が高いSNSを活用した普及・発信を実施



アサヒ飲料株式会社と覚書を締結し、子育て世代をターゲットに普及啓発

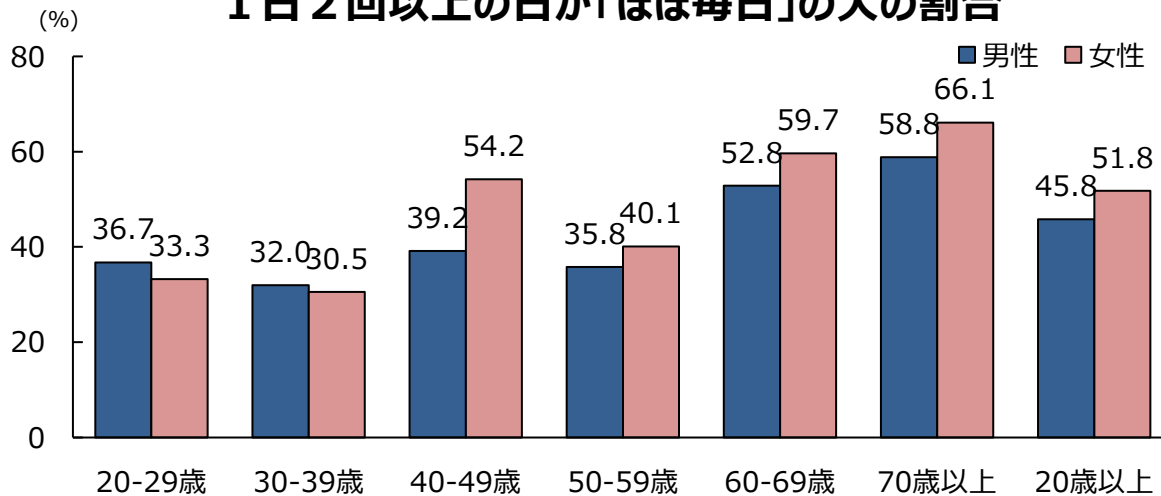


絵本風ハンドブック「ACEでねえ！しあわせ健康長寿」、啓発ポスター、啓発動画を作成
 (長野県出身の芸人「もう中学生」が作画)



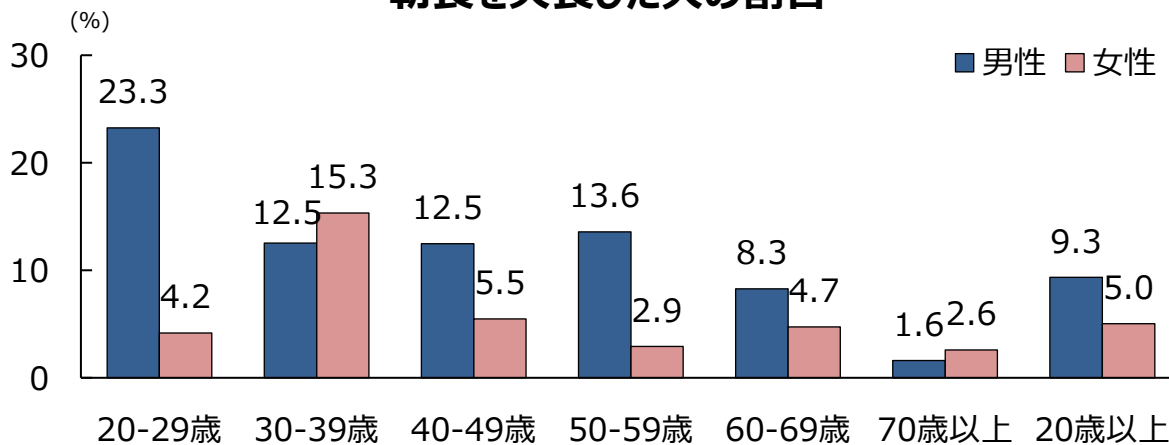
食事のバランス・朝食欠食の状況

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が
1日2回以上の日が「ほぼ毎日」の人の割合



- 主食
ご飯、パン、麺など
- 主菜
主に肉、魚、卵、大豆等を使った料理
- 副菜
主に野菜、きのこ、海藻等を使った料理

朝食を欠食した人の割合



- 〈朝食を欠食した人〉
調査日の朝食が、以下に当てはまる人
- ・何も食べなかった場合
 - ・菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
 - ・サプリメントや栄養ドリンクのみ摂取した場合

【令和6年度長野県の取組】

若者や子育て世代へ向けた普及発信や体験の場を取り入れることにより、無関心世代への食に対する関心を高めるとともに、実践する力を育みます。

《県民文化部》

- 保育所給食担当者研修
 - ・保育所調理担当者等を対象に研修実施 など

《教育委員会》

- 学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業
 - ・栄養教諭・学校栄養職員研修の実施
 - ・つながる食育推進事業
 - ・「和食料理人出前講座」（公立学校共済組合連携事業）
 - ・「長野県学校給食フェア」の周知 など

《農政部》

- 若者世代への地産地消に対する意識啓発
 - ・地産地消推進キャラクター「匂ちゃん」の学校訪問等を実施

《健康福祉部》

- 信州ACE（エース）プロジェクト普及・発信
 - ・テレビ番組、SNS等の訴求力のあるメディア媒体を活用して健康づくりの手法を発信
 - ライフステージ別課題に応じた生活改善実践事業
 - ・各地域の課題に沿って、ライフステージ別の課題に応じた健康づくりを推進（高校生への食支援出前講座、子育て世代等へのバランスのとれた食生活の普及等）
- など

2 世界一の健康長寿を目指す食育



県民一人ひとりが生活習慣病の予防と改善につながる望ましい食習慣を身につけられるよう、県、市町村、関係機関・団体等の連携と協力による取組により、食育を推進します。

県民の目指す姿

- 肥満（BMI25以上）とやせ（BMI18.5未満）の人が減少し、適正体重を維持する人が増加します。
- 低栄養（BMI20以下）の高齢者（概ね65歳以上）が減少します。
- メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる人・予備群の割合が減少します。
- 成人の糖尿病が強く疑われる人・予備群の割合が減少します。
- 成人の高血圧者・正常高値血圧の人の割合が減少します。
- 何でも噛んで食べられる人が増加します。

主な指標

項目	ベース値(2022)	目標(2027)
肥満者（BMI25以上）の割合	<2019>	
20～69歳男性	36.2%	30%未満
40～69歳女性	15.5%	13.2%未満
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合	<2019>	
65歳以上男性	9.5%	13%未満
65歳以上女性	26.4%	
成人1人1日当たり野菜摂取量	<2019> 297g	350g
成人1人1日当たりの食塩摂取量	<2019> 10.5g	7g未満
日頃よく噛むことを意識している人の割合	<2019> 56.1%	増加 8

【県の取組】

飲食店、コンビニ・スーパー等と連携して、塩分や野菜の量に配慮したACEメニュー・弁当を提供しています。

信州食育発信

3つの星レストラン



以下3つすべてに取り組まれるお店です

健康に配慮したメニューの提供

長野県産食材の利用や長野県の食文化継承の取組を実施

食べ残しを減らそう協力店

としての取組を実施

登録店舗数

172店

(R5.3末現在)

「長野県庁食堂
(ししとう)」

日替わりで定食を提供

「長野県長寿食堂」



「小木曾製粉所」



「健康づくりおすすめセレクト」



長野駅ビルMIDORIにH27.3/7オープン

(写真提供：株式会社)

健康づくり応援弁当 信州ACE弁当



以下の基準を満たすお弁当です

- ・エネルギー500～700kcal
- ・野菜140g以上
- ・食塩相当量3g未満
- ・長野県食材の使用



ツルヤ

「丸子中央病院山田シェフ監修
信州ACE弁当」



ふるさと弁当ころ

「梅え～な！魚の野菜
あんかけ弁当」



kitchen vicky

「きのこのスパイスキーマカレー
ACE弁当」



グルメ検索サイト **Delicious×Komachi**
グルメポータルデリシャスコマチ

に3つの星レストラン特設サイトをオープン



- ◇ 登録店舗を地域別に検索可能
→ 地域を選択すると、そのエリア内の登録店舗が表示され、さらにお店の詳細情報を見ることができます。
- ◇ 完全禁煙（信州おいしい空気のお店）の情報を掲載

<https://www.deli-koma.com>で検索！
(パソコン・スマートフォン両対応)

【県の取組】

〔減塩に向けた取組を進めています〕

減塩普及・発信事業

若年層、働き盛り世代、高齢者の各年代に応じた効果的な方法を組み合わせることで啓発をしています。

- ポスター・新聞・テレビ広告による発信
- ホームページ、Web広告、SNSによる発信

食塩摂取量1日8g以下
ゆるしお
YURUSHIO
しお

長野県民の食塩摂取量は
全国トップクラスだと知っていますか？

●ゆるしおとは
ゆるしおは、食塩摂取量の多い日本人の食生活改善のために取り組んでおり、食生活改善のきっかけとなることを目指しています。

●何がいけないの？
食塩を摂ると、高血圧に繋がります。高血圧は脳卒中や心臓病の原因の一つです。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。

●目指そう！食塩摂取量8g以下
日本人の食塩摂取量の2019年度調査結果によると、日本人の食塩摂取量は1日平均10.5gです。これは、WHOが推奨している1日8gを大きく超えています。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。食塩の摂り過ぎは、高血圧の原因の一つです。

だから「減塩」、やろう「ゆるしお」

長野県健康福祉部健康増進課

・自分の食塩摂取状況を把握できるツールの活用

塩分チェックシート

※できるだけチェックをして、合計点を算出してみよう！

	3点	2点	1点	0点	合計
1 みそ汁・スープなどを食べる頻度	1日2杯以上	1日1杯くらい	2~3回/週	あまり食べない	
2 漬け物・梅干しなどを食べる頻度	1日2杯以上	1日1杯くらい	2~3回/週	あまり食べない	
3 ちくわ・かまぼこなどを食べる頻度		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない	
4 アジの開き・みりん干し・塩鮎などを食べる頻度		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない	
5 ハム・ソーセージなどの加工肉を食べる頻度		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない	
6 うどん・ラーメンなどの麺類を食べる頻度	ほぼ毎日	2~3回/週	1回/週以下	食べない	
7 せんべい・ポテトチップスなどを食べる頻度		よく食べる	2~3回/週	あまり食べない	
8 しょうゆ・ソースなどをかける頻度	よくかける(ほぼ毎日)	毎日1回はかける	時々かける	ほとんどかけない	

・市町村の先駆的な取組を周知

PR

信州ACEプロジェクト

健康・減塩から長寿宣言

健康と塩分って関係あるの？

塩分をとりすぎるとどうなる？

減塩が必要な理由

今のうちから手直ししよう！
若者世代

あなたの食事は大丈夫？
働き盛り世代

健康長寿のために！
シニア世代

知っている人は少ない？
一塩と血圧の関係

・減塩の必要性を学び、実践へつなげる

健康と塩分って関係あるの？

塩分をとりすぎるとどうなる？
減塩が必要な理由

今のうちから手直ししよう！
若者世代

あなたの食事は大丈夫？
働き盛り世代

健康長寿のために！
シニア世代

知っている人は少ない？
一塩と血圧の関係



〔高齢者の低栄養予防のための取組を進めています〕

ライフステージ別課題に応じた生活改善実践事業

「高齢者の低栄養」等、ライフステージ別に課題があるため、各地域において重点的な対策が必要なライフステージを特定し、各々の課題解決のために食生活改善等の取組を実施しています。

【高齢者】

フレイル予防のための食生活のポイントやレシピ等をまとめたリーフレットを配布等



【働き盛り世代～】

食生活改善推進員が実施している料理講習会や隣近所への訪問の機会に合わせて食生活アンケートを行い、その回答内容に応じて、減塩やバランスのとれた食生活に向けた実践的なアドバイスを実施。

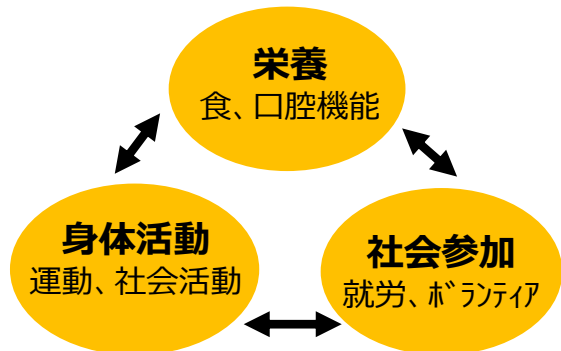


フレイル（虚弱） 予防総合推進事業

フレイル（加齢とともに筋力や認知機能等が低下し、要介護状態等の危険性が高くなった状態）予防の重要性について専門職等への理解を深めるとともに、県民への周知を図り、健康寿命の延伸を目指しています。

- 市町村のフレイル予防に関する取組を収集し、県ホームページで公表
- 長野県理学療法士会、長野県保健医療大学と共同で「アルクマと一緒にいつでもストレッチ」動画をYouTubeで配信

【フレイル予防の3本柱】



〔歯や口腔の健康は全身の健康とも関連があるため、ライフステージに応じた歯や口腔の健康づくりを充実させ、健康寿命の延伸を図っています〕

8020運動推進特別事業・8020運動普及啓発事業

- 県民の歯科口腔保健に対する意識の高揚を図るため、「第3回 長野県歯と笑顔のフォトコンテスト」や、県民大会での歯科口腔保健向上に関する研修会を実施しています。

[第3回 長野県歯と笑顔のフォトコンテスト]

[令和5年度歯っぴーながの8020推進県民大会]

最優秀賞



「アラ還アラ古稀！人生ますます花ざかり」



〔歯や口腔の健康は全身の健康とも関連があるため、ライフステージに応じた歯や口腔の健康づくりを充実させ、健康寿命の延伸を図っています〕

口腔保健推進センター事業

- 長野県健康福祉部健康増進課内に設置された長野県歯科口腔保健推進センター（※）に属する歯科医師・歯科衛生士を中心に、以下の取組を行いました。

（※）長野県歯科口腔保健推進条例改正に伴い、令和4年度から保健・疾病対策課から健康増進課へ移管。

1 「お口の健康推進員」育成研修会

- ・ 歯や口腔の健康づくりに地域で先導的な役割を果たす「お口の健康推進員」を育成するため、食生活改善推進員等の地域関係者に研修会を実施（R5年度：7圏域14会場で開催）

お口の健康推進員 PINS



2 在宅重度心身障がい児・者の訪問歯科健診

- ・ 在宅重度心身障がい児・者への訪問歯科健診を実施（R5年度87名、実施中）

3 歯や口腔の健康に関する普及啓発活動

- ・ 歯科口腔保健セミナー（県政出前講座）や各種出張講演の実施

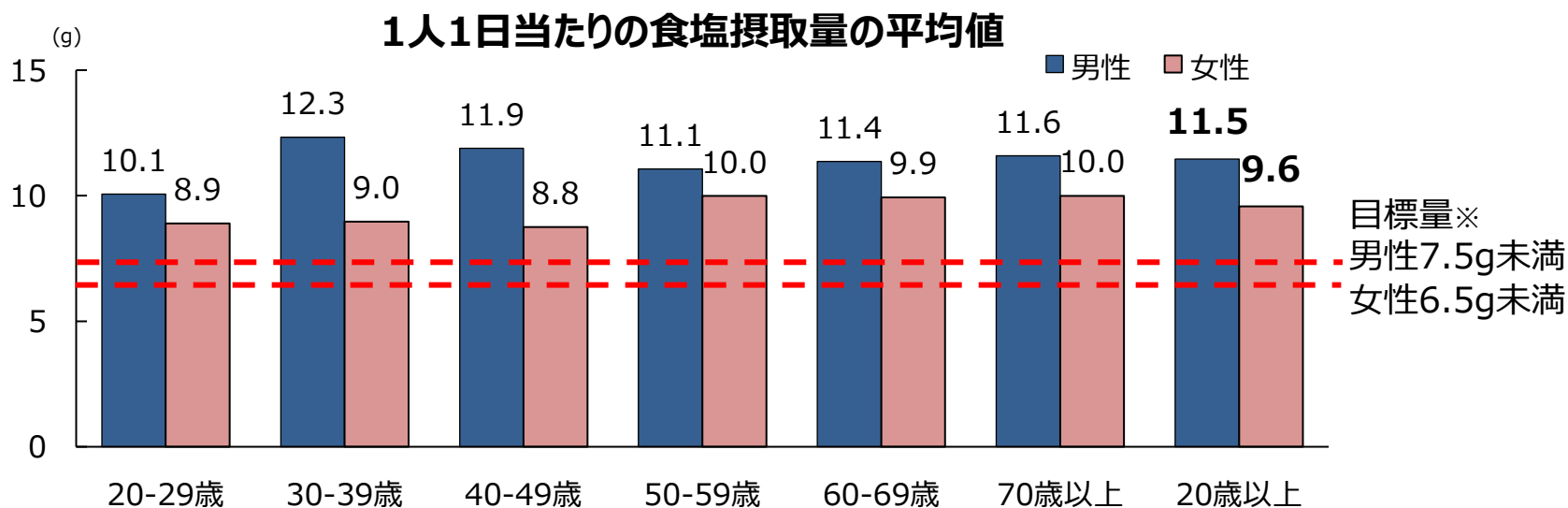
4 オーラルフレイル対策タスクフォース

- ・ 多職種からなる「オーラルフレイル対策タスクフォース」を設置し、普及啓発、運動・栄養等と一体化した予防活動・相談窓口等の整備の3要素について検討。（R6.2.7予定）リーフレット・動画を制作。

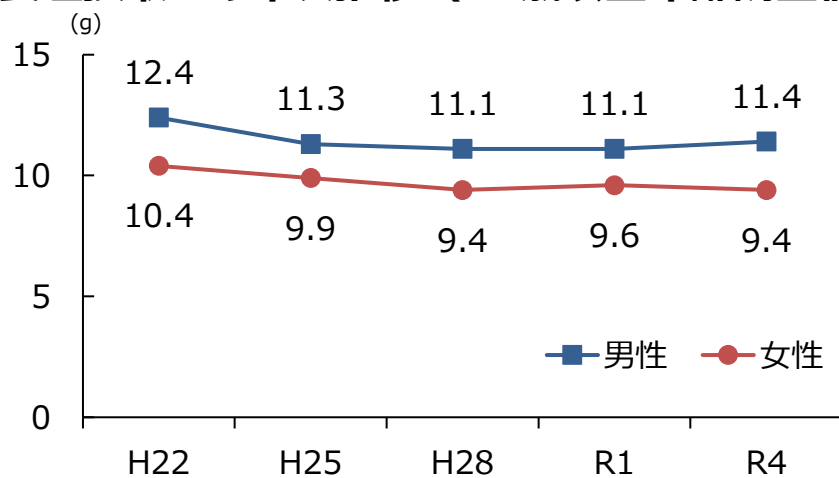
毎日「おいしく食べる」ための
オーラルフレイル予防



食塩摂取量の状況



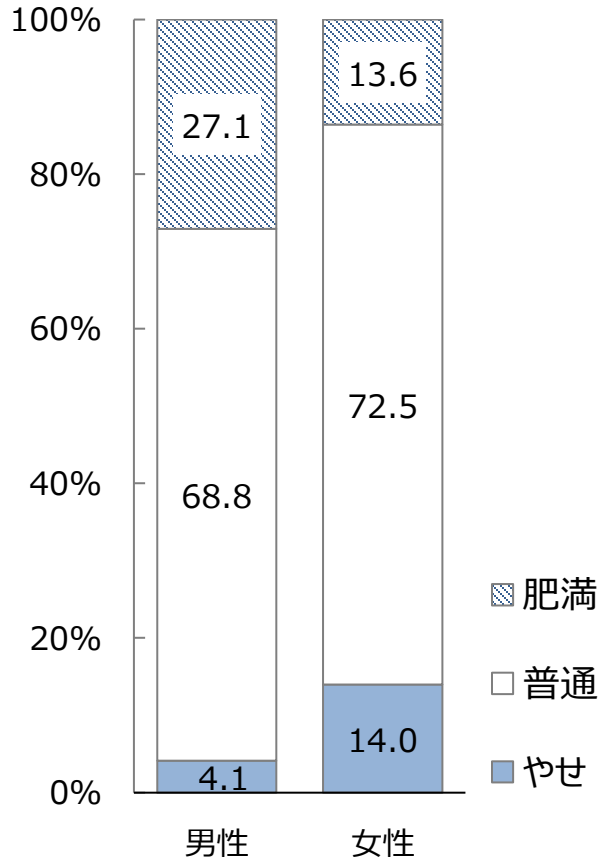
食塩摂取量の年次推移 (20歳以上年齢調整値)



※生活習慣病予防の観点から目指したい減塩の目標量 (1日当たり男性7.5g未満、女性6.5g未満) 「日本人の食事摂取基準2020年版」

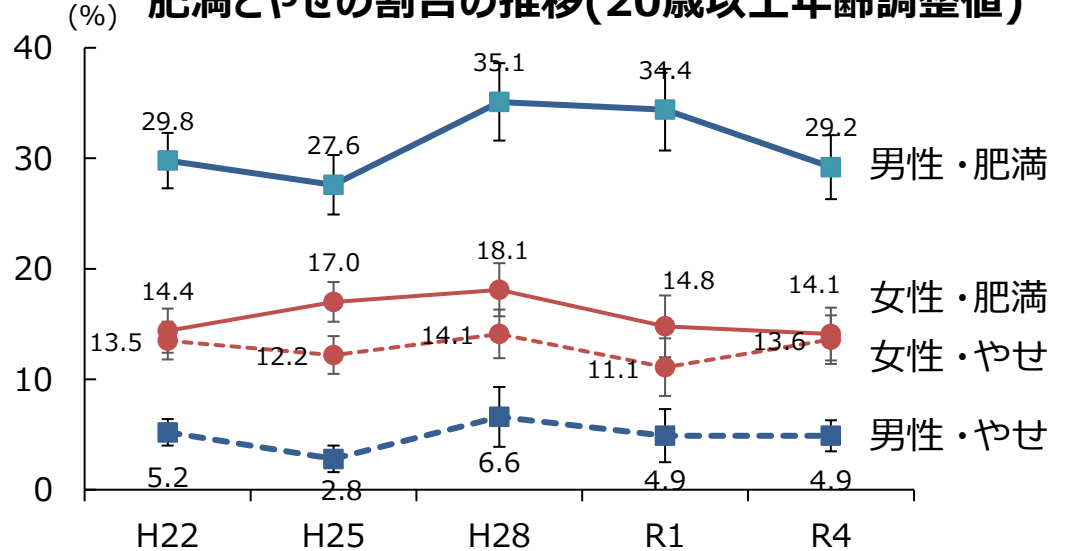
肥満とやせの状況

肥満とやせの状況（20歳以上）

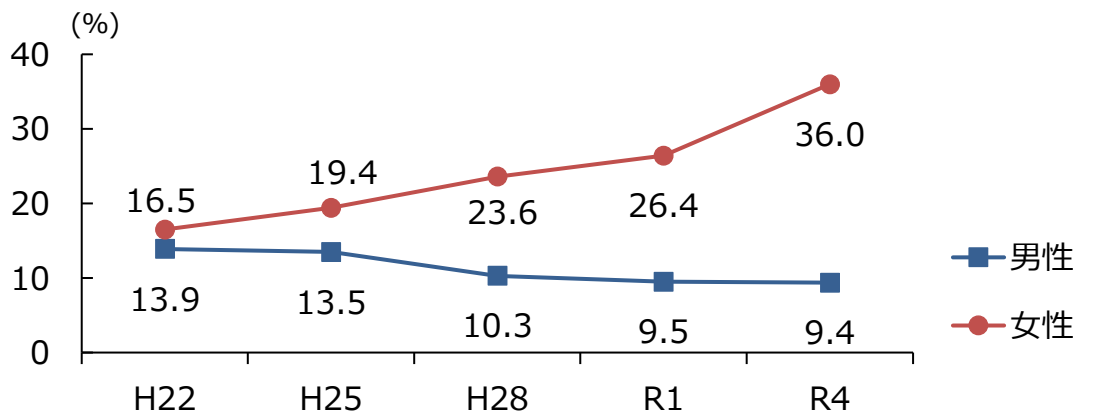


肥満 (BMI 25以上)
やせ (BMI 18.5未満)

肥満とやせの割合の推移(20歳以上年齢調整値)



低栄養傾向の割合の推移（65歳以上でBMI20以下）



【令和6年度長野県の取組】

多様化するライフスタイルの中で、県民が年齢や自分の体に合った望ましい食習慣を身に付け実践できるよう地域・職域等との連携強化により取り組めます。

《フレイル（虚弱）予防総合推進事業》

- 周知・啓発
 - ・市町村でのフレイル予防の取組を県HPで公表
 - ・関係機関等と連携しストレッチ動画を作成
- オーラルフレイル対策の推進

《食環境整備》

- 3つの星レストラン登録店・ACE弁当販売届出店の拡大
- SNSを通じて登録店及びメニューの周知と利用促進



《ライフステージ別課題に応じた生活習慣の改善》

- 各地域の課題に沿って、ライフステージ別の課題に応じた健康づくりを推進
(働き盛り世代の食生活改善、高校生への食生活出前講座 等)

《8020運動の推進》

- 8020運動を推進するための県民大会の開催
- 県民の歯科口腔保健に対する意識の高揚を目的とした普及啓発事業の実施

《長野県歯科口腔保健推進センター事業》

- 在宅の重度心身障がい児者への訪問歯科健診の実施
- フッ化物洗口未実施市町村における事業開始を支援
- オーラルフレイル予防のための普及啓発を実施
- 「お口の健康推進員」の育成及び認定
- 歯科・歯科口腔外科を設置していない病院へ歯科専門職を派遣し入院患者等に歯科口腔管理等を実施

3 食の循環と地域の食を意識した食育

生産から消費、廃棄に至るまでの一連の「食」の循環を意識しながら、食を通じて人と人との交流を深めるとともに、地域の食を次世代に伝え、郷土への理解を深めます。

県民の目指す姿



- 地域の農畜産物や食文化へ関心を持ち、信州農畜産物の利用などによる郷土への理解を深めます。
- 食に関する感謝の気持ちを持ちます。
- 地域で共食したい人が様々な人と共食する機会を持ちます。
- 社会課題や環境問題を自分事として捉え、エシカル表皮の趣旨や意義について理解を深めます。
- 日頃から災害の発生を意識し、自分の食事は自分で整えられることを基本とし、知識と技術を学びます。

主な指標

項目	ベース値(2022)	目標(2027)
作ることができる郷土料理や伝統食が1種類以上ある県民の割合	<2019> 48.0%	増加
食べ物を残すことをもったいないことだと思う児童生徒の割合	小5 81.6% 中2 77.2%	増加
1人1日当たりの一般廃棄物排出量	<2020> 807g/人・日	<2025年> 790g/人・日
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店の増加(県産農産物利用の飲食店、弁当)	716店舗	1,000店舗

【県の取組】

〔環境に配慮した農業・農産物への理解促進に向けた取組〕

県産農産物の域内消費流通促進事業

環境に配慮した農業や農産物への理解を促進し、消費拡大につなげるため、県立特別支援学校等に有機米を無償提供するとともに、食育授業を実施

◆有機米コシヒカリ、一部野菜等を県立特別支援学校16校及び県農業大学校、県庁生協食堂に提供（差額補填）し、毎月8日の「有機の日」に合わせて有機米給食を実施。（令和5年11月）

◆環境にやさしい農業の食育教材を作成し、学校へ配布。栄養教諭による食育だよりとともに、食育活動の際に活用いただいた。教材を活用するだけでなく、各栄養教諭の創意工夫により各学校でより訴求力のある活動を展開していただいた。



有機米等を活用した給食提供（飯山養護学校）



栄養教諭による食育活動、県産食材の食育教材

○「おいしい信州ふーど」ネット

おいしい信州ふーどのストーリー、SHOP情報、料理レシピやイベント情報等をタイムリーに発信しています。

<http://www.oishii-shinshu.net/>



「おいしい信州ふーど」ネット・「おいしい信州ふーど」キャンペーン アクセス数

項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度 (4-12月)
アクセス数	689,997	805,764	886,045	1,083,245	1,133,101	1,048,497	1,027,457	775,211

○「匂ちゃん」の保育園・学校訪問

給食を通じて地元農産物や農業を学び、食への思いを育むため、キャラクターを活用して保育園や小学校を訪問しました。



項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R 3年度	R 4年度	R5年度 (4-12月)
学校数	12	10	13	10	11	6	2	5
対象者数	1,108	810	1,720	815	939	624	193	約690

〔食品ロスを減らすための取組を進めています〕

「チャレンジ800」ごみ減量推進事業

○「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」協力店

食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、小売業を協力店として募集・登録しています。

◆令和5年度12月末現在940店舗（新規：40店舗）

○「残さず食べよう！30・10運動」の啓発

宴会時の最初の30分と最後の10分を自席で料理を楽しみ、食べ残しを減らすことを呼びかける「残さず食べよう！30・10運動」の実施を呼び掛けています。

また、家庭における食品ロス削減を呼び掛けるため、毎月30日は「冷蔵庫クリーンアップデー」、毎月10日は「もったいないクッキングデー」として家庭（おうち）で実践！「残さず食べよう！30・10運動」を展開しています。



協力店登録ステッカー

○「信州発もったいないキャンペーン」

食べるタイミングを考えて消費期限・賞味期限間近の食品から順番に購入することを呼びかけることで食品ロスを削減し、環境にやさしいエシカル消費を促進します。

◆実施事業者数 31（1080店舗）

○フードバンク活動の推進

事業者が抱える未利用食品や家庭で眠っている食品の寄付を促すため、新聞広告を作成し、フードバンク活動への参加を呼びかけました。

【令和6年度長野県の取組】

信州農畜産物や地域の食への理解を深め、食を大切にする心を育てるとともに、食に関する様々な情報を発信します。

《農政部》

- 「おいしい信州ふーど」の認知度向上と利用拡大、「サステナブル」の情報発信の強化
- 地域内での消費と生産の拡大につなげるため、学校給食や企業の食堂等への有機農産物の提供に向けた取組の支援
- 伝統野菜の栽培技術の継承、生産グループの育成と生産力強化 など

《林務部》

- きのこ等の生産技術の向上等に関する研修会を開催
- きのこ料理コンクールの開催 など

《教育委員会》

- 学校給食における地場産物の活用
- 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の実施 など

《環境部》

- 「信州エコスタイルごみ減量推進事業」
 - ・「食べ残しを減らそう県民運動
～e-プロジェクト～」の実施
協力店の増加に向けた取組
- 「残さず食べよう！30・10運動」の実施
小売店と連携した「信州発もったいない
キャンペーン」の実施
- ・フードバンク活動の推進 など

《県民文化部》

- 信州こどもカフェやこども食堂において、食育ボランティアや栄養士等関係職種の参加を支援 など

4 信州の食を育む環境づくり



食品の安全を基盤にし、子どもから高齢者まで途切れることなく食育が進むような体制づくりを進めるとともに、食育ボランティア活動が活発に行われてきたという本県の特長を活かした活動を展開します。

県民の目指す姿

- 県民が食育に関心を持っています。
- 食育ボランティアの活動に参加する県民が増加します。
- 生産から消費に至るまでの食に関する様々な実践活動・体験等の場に参加する県民が増加します。
- 子どもから成人、高齢者に至るまで、生涯にわたって、各ライフステージに応じた食育に取り組みます。
- 食品に関する信頼できる情報に基づき、適切な判断をし、健全な食生活を行うことのできる知識を持ちます。

主な指標

項目	ベース値(2022)	目標(2027)
食育に関心のある人の割合 (15歳以上)	<2019> 46.0%	60%
食育ボランティア数	<2020> 18,780人	現状維持
市町村食育推進計画の策定割合	<2021> 62市町村(80.5%)	100%

【県の取組】

〔県民の皆さんに「食育」を発信。みんなで食育に取り組めます〕



たいせつな家族の未来のために
じれっと減塩
しちゃいませんか？

TSURUYA Ajinomoto House

《しれっと減塩メニュー監修》
日本料理「ゆ庵」代表 湯本 忠仁
長野県調理師会 会長 黄綏慶受章(平成25年)
長野県知事表彰(平成22年)
(一社)全国日本調理技術士連合会 副会長
長野市在住

店頭にて
ツルヤオリジナルの
レシピを大公開！

食品関連企業や団体と連携して減塩の啓発や料理を発信しています



地域食育フォーラム

〔食育ボランティアの活動を支援します〕

食生活改善推進員の育成や活動を支援するとともに、活動強化につながる会議や研修会を開催しています。

農業リーダー育成事業（農村女性活動支援）



農村女性を対象とした研修会の開催やグループ活動を支援しています。

健康ボランティア活動強化事業

〔信州の食を情報発信します〕

料理検索サイト「クックパッド 長野県公式キッチン」へのレシピ掲載

長野県の「食」を広く発信するため、「おいしい信州ふード」を使用したレシピや、健康づくり応援レシピなど、おいしくて健康的な信州の食材を使ったレシピを紹介しています。

県オリジナル食材の調理活用開発

県内の高校生が調理師会と共同で、県オリジナル食材を活用したメニューを開発しました。高校生のアイディアにプロのアドバイスが加わったこだわりのレシピを紹介します！

「ぼたんこしょうの焼きキーマカレー」

R3年度 下高井農林高校



学校給食献立レシピ

学校給食で提供されている料理を、家庭用にアレンジしレシピ化しました！懐かしい給食レシピも見つかるかも！？

「絶賛！給食レシピ まめマメ味噌汁」

★「まめ」の人気検索でトップ10入り！



信州ACEプロジェクト健康づくり応援献立

「野菜やきのこをたっぷり」「塩分控えめでも美味しく」をテーマに、ご家庭で手軽にできるヘルシー献立をご紹介します！健康づくりの「ちょっとしたコツ」が満載です♪



「ほうれん草とりのり和風サラダ」

★「和風サラダ」の人気検索でトップ10入り！

「簡単！信州きのこのマリネ」

★「きのこのマリネ」の人気検索でトップ10入り！



野菜ときのこがたっぷりで、ヘルシーなのにボリュームは満点！味噌のコクやマリネの酸味など様々な味が楽しめる献立です。

★第1弾「健康づくり応援(ACE)献立」

クックパッド「長野県公式キッチン」はこちら
<http://cookpad.com/kitchen/9907870>

【クックパッド公式キッチンとは】・・・「クックパッド」は、クックパッド(株)が運営する、H10年3月サービス開始の日本最大の料理レシピサービス。投稿レシピ数は約300万品以上。ひと月の利用者数は約5,400万人で、20～30代女性の多くが活用しています。サイトの「クックパッド公式キッチン」では、タレントや自治体等が、レシピを始め食に関する情報を発信しています。

食品の安全・安心懇話会

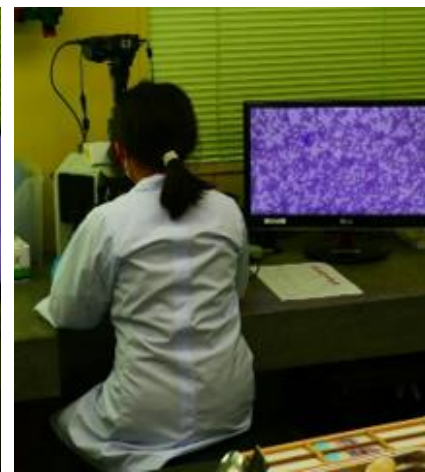
○ 県民の皆さんと食品関係者に食品の安全性に関する知識と理解を深めるとともに、県民、事業者、行政の相互理解を目的に、情報・意見交換会を実施して、意見や要望を反映した施策を形成を図っています。

食品の安全こども教室

○ 食品の安全性に関する正しい知識と理解を深めることを目的に、県内の希望する小学校に職員が出向き、食品安全に関する正しい知識を身につけてもらうため、食中毒の予防方法、手洗いの大切さなどの講話や体験を行っています。

食品衛生親子体験事業

○ 親子で食品の安全性に関する知識を深めるため、夏休み期間中に県内の食肉衛生検査所において『食品衛生親子体験』を開催しています。



【令和6年度長野県の取組】

県民一人ひとりが今以上に食育に関心を持ち、様々な機会を通じて食育を実践できるよう、関係機関・団体の連携を強化し、食育を推進するための環境整備と体制づくりを進めます。

《農業リーダーの育成 （農村女性活動支援）》

- 農村女性を対象とした研修会の開催やグループ活動の支援等

《健康ボランティアの支援》

- 健康ボランティアの食生活改善推進員を養成・育成

《健康福祉部》

- 親子で食品の安全性に関する知識の普及と相互理解を図る「食品衛生親子体験事業」の実施
- 食中毒の発生、違反食品の発見等の情報を電子メール等により配信 など

《食育推進のための基盤整備》

- 県食育推進計画（第4次）を県民運動として推進するため食育に携わる関係者が相互に連携し、県民の食育活動の実践を促進。
 - ・ 信州の食を育む県民会議の開催 ・ 各地域連絡会議、食育地域フォーラムの開催
 - ・ 信州の食の情報発信
 - 信州の食材を生かした健康に配慮したメニューや食育情報をクックパッド等の情報ツールを活用して発信。